

平成27年度 第2回北海道立総合博物館協議会 議事概要

会議名	平成27年度 第2回北海道立総合博物館協議会
開催日時	平成28年3月23日(水) 10時～12時
開催場所	北海道庁別館庁舎9階 第1研修室
出席委員数	7名全員出席(委員名簿のとおり)
傍聴者	1名

議 題

- (1) 北海道博物館の評価方法のあり方について(答申)
佐々木亨会長より石森秀三館長に答申書が手交された。
- (2) 平成27年度事業実績報告(業務実績に関する内部評価報告)
北敏文総務部長、舟山直治学芸部長、小川正人アイヌ民族文化研究センター長兼研究部長より、平成27年度事業実績(業務実績に関する内部評価結果)を報告した。

【委員からの意見】

- ・外部評価実施の観点から、事業実績報告書の構成について次のような意見があった。
 1. 内部評価のプロセス及び内部評価委員会の構成と日程を報告書に追加して欲しい。
 2. 外部評価に資するため、可能ならば予算、人員に関する情報を報告書に追加して欲しい。
 3. 総括評価と項目別評価とで評点に差異が生じていることから、総括評価のシートに内部評価委員会の議論の要約を追加するとともに、①項目別評価の妥当性の判断、②事業の実施結果が各措置に対して寄与した点、以上の2点を具体的に記載して欲しい。
 4. 内部評価委員会の評価については、その判断(評価すべき点、改善・注視を要する点など)がわかるように具体的な文言でまとめて欲しい。
 5. 総括評価の項目2については、目指す方向と対応する項目別評価の内容とが合致していないように感じる。
- ・内部評価(総括評価、項目別評価)の実施にあたって、次のような意見があった。
 1. 民間でも同様であるが、S・A・B・Cの評価基準を設けると、評価がAかBに偏ってしまうため、留意して欲しい。
 2. 評価は理論と実践が重要であり、これからしっかりと実践していただきたい。
 3. 資料を受け入れない場合、道内の博物館を紹介するなどの取組があっても良いのではないか。
 4. 展示に関する項目別評価(目標値No.3)にある、総合展示室利用者及び外国人利用者については、達成状況のところに内訳と分析を記載して欲しい。
 5. 道民参加型組織の整備(目標値No.18)については、次年度はもう少し高い目標を掲げて欲しい。
 6. 博物館ネットワークの項目別評価(目標値No.19)に具体的な計画や取組を記載して欲しい。
 7. 総括評価7に関する項目別評価(目標値No.21～23)は大変重要であるため、縄文文化や北海道150年の総括など、具体的な内容を年度計画に入れて欲しい。
- ・その他
北海道博物館の意志や主張したい点が中期目標や年度計画からは見えにくいいため、今後道民や外部に対して将来像を指し示すことが重要である。

- (3) その他
右代啓視学芸主幹が平成28年度の協議会スケジュールについて説明を行った。